

解答用紙1

受験番号	AB120000	名前	富士山 検太郎
------	----------	----	---------

例	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
---	-----	-----	-----	-----

問1	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問2	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問3	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問4	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問5	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問6	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問7	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問8	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問9	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問10	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問11	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問12	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問13	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問14	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問15	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問16	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問17	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問18	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問19	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問20	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)

問21	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問22	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問23	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問24	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問25	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問26	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問27	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問28	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問29	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問30	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問31	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問32	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問33	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問34	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問35	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問36	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問37	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問38	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問39	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問40	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)

問41	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問42	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問43	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問44	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問45	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問46	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問47	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問48	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問49	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問50	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問51	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問52	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問53	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問54	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問55	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問56	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問57	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問58	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問59	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問60	(ア)	(イ)	(●)	(エ)

問61	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問62	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問63	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問64	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問65	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問66	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問67	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問68	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問69	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問70	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問71	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問72	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問73	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問74	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問75	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問76	(●)	(イ)	(ウ)	(エ)
問77	(ア)	(イ)	(●)	(エ)
問78	(ア)	(イ)	(ウ)	(●)
問79	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)
問80	(ア)	(●)	(ウ)	(エ)

受験番号	AB120000	名前	富士山 検太郎
------	----------	----	---------

A 主祭神はアサマノオオカミ・コノハナノサクヤヒメノミコト。西暦806年に坂上田村麻呂が山宮の地から現在の大宮の地に遷したと伝えられている。江戸時代に徳川家康が本殿などを造営した。本殿は国の重要文化財に指定されている。境内には国指定特別天然記念物の湧玉池があり、かつては道者が水垢離を行った。

B 宝永噴火は、1707年に発生した現在までにおける最後の噴火。噴火の始まる49日前には宝永地震が発生した。噴火地点は南東斜面で、大量の火山灰や軽石を噴出した。高温の軽石の降下により家屋の消失が相次いだ。噴煙は遠く江戸まで達し、大量の火山灰によって酒匂川などでは土石流が大きな被害をもたらした。

C 青木ヶ原樹海は、富士山の北西に位置し、国の天然記念物に指定されている原生林。山手線の内側の面積に匹敵する面積をもつ。西暦864年の貞観の噴火で流出した大量の溶岩流は、この地にあった森林を焼き払ったが、その後1100年以上の歳月をかけて植生が復活した（現在もその途上にある）原野である。

D 富士山の斜面は、その高度によって生育する種が異なることが見て取れる。このことを垂直分布と呼ぶ。山地帯は、標高1600メートルくらいまでの森林で本来はブナなどの落葉樹が見られるエリアであるが、ヒノキなどの植林も大規模に行われている。亜高山帯は2500メートルまでのエリアで、カラマツなどの針葉樹が中心。この標高約2500メートルのラインが森林限界であり、これより上の高山帯では背の高い植物はみられずオンタデやイワツメクサなどが砂礫地対の中にみられるだけである。

E お鉢巡りは、歩行距離は3キロほどで、普通のスピードで歩いて1時間から2時間くらいかかる。久須志神社を過ぎると、御殿場口の頂上にあたる銀名水がある。さらに進むと、富士宮口の頂上があり、ここに富士山本宮浅間大社奥宮があり社務所内には富士山頂郵便局がある。その先には、馬の背と呼ばれる急斜面があり、登り切ったところが、日本最高地点となる剣ヶ峰である。剣ヶ峰にはかつてレーダードームがあった富士山測候所があり、かたわらに二等三角点がある。更に進むと、白山岳や釈迦の割れ石が見えてくる。剣ヶ峰の北側は残雪が残りやすく、一周まわることができない時期もある。

F iii | iv | vi